CASBEE_Sapporo2014v1.2
DCMホーマック旭ヶ丘店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル：　CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト：　CASBEE札幌2014（ver.1.3）

スコアシート　竣工段階　　重点評価項目　■A：省エネルギー　■B：省資源　■C：緑化　■D：雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	重み係数	住居・宿泊部分 評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.0
1 音環境						2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能						-	-	-	-	
3 界床遮音性能（軽量衝撃源）						-	-	-	-	
4 界床遮音性能（重量衝撃源）						-	-	-	-	
1.3 吸音						1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能	A					3.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.50	-	-	
1 昼光率						3.0	-	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備	A					3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御	A					-	-	-	-	
2 映り込み対策										
3.3 照度						3.0	-	5.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.50	-	-	
4 空気質環境						3.3	0.25	-	-	3.3
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	-	-	
2 ダニ・カビ対策						-	-	-	-	
4.2 換気						4.0	0.30	-	-	
1 換気量					39.850㎥/時間　添付の換気風量計算表による	5.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能						-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO_2の監視						3.0	1.00	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						–	0.30	-	-	3.1
1 機能性						3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					天井高さを3.950とし広さ感に配慮した	4.0	0.33	5.0	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	0.33	-	-	
3 内装計画						1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					維持管理に配慮した仕上げ材を使用した	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					清掃用具の洗い場等、維持管理機能の確保に努めた	5.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務						-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		B				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		B				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						1.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり						3.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり						3.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ						3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性						3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.2
DCMホーマック旭ヶ丘店

■使用評価マニュアル：　CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト：　CASBEE札幌2014（ver.1.3）

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート　竣工段階　　**重点評価項目**　■A：省エネルギー　■B：省資源　■C：緑化　■D：雪処理

配慮項目	重点評価項目 A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点	重み係数	住居・宿泊部分 評価点	重み係数	全体
Q3 室外環境（敷地内）						–	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			C			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		まちなみへの配慮として、近隣への圧迫感を配慮し高さを抑えた	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						–	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー						–	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI　非住宅 0.49　住宅（専有部）–	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A				設備システムの効率化に努めた設計とした	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A						-	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価							-	-	-	
4.1 モニタリング	A						-	-	-	
4.2 運用管理体制	A						-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						–	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護						2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水						1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			–	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			–	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B				2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		B				2.0	0.33	-	-	
3 冷媒		B				2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境						–	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		B			日陰部分及び通風を考慮した配置とした	4.8	0.33	-	-	4.8
2 地域環境への配慮						1.9	0.33	-	-	1.9
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制						1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	アルミ等、再利用に努める運営とする	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制							-	-		
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策						3.0	0.30	-	-	